

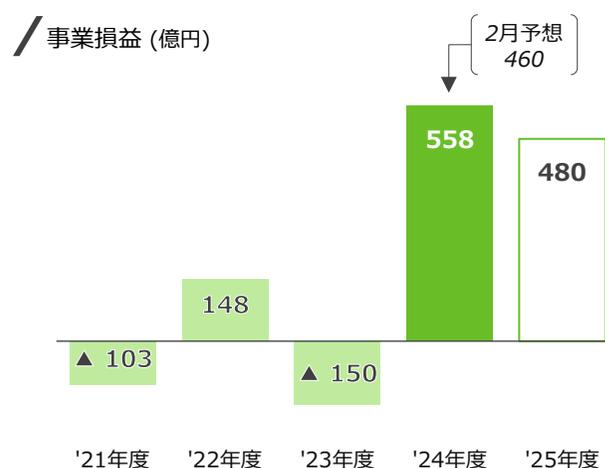
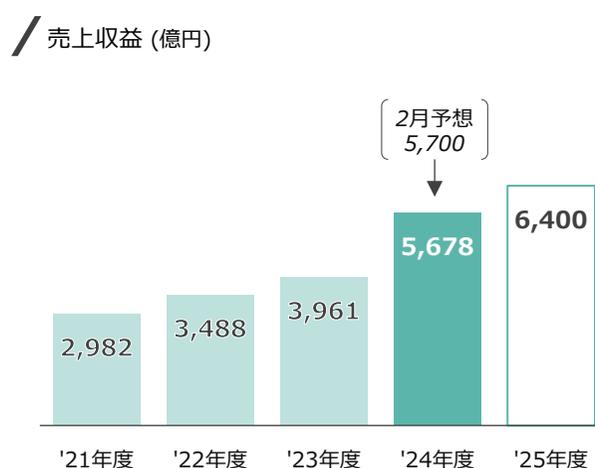
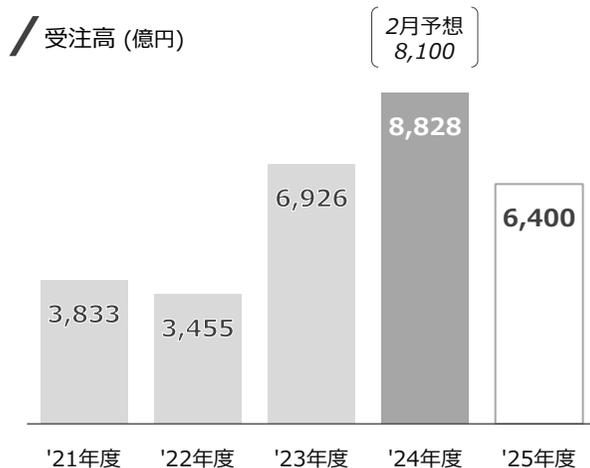
3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

2024年度実績（前期比）

<p>受注高 </p> <p>+1,902 億円</p>	<p>PW1100G-JMエンジンに係る損失計上 (受注高の減額)があった前期と比べ、防衛省向けや、民間機向け航空エンジンが増加したことにより増加</p>
<p>売上収益 </p> <p>+1,716 億円</p>	<p>同上</p>
<p>事業利益 </p> <p>+708 億円</p>	<p>増収による増益などにより改善</p>

2025年度予想（前期比）

<p>受注高 </p> <p>▲2,428 億円</p>	<p>ボーイング向けや民間機向け航空エンジンの増加はあるものの、防衛省向けの減少（主として前期に17機一括受注のあった「CH-47」ヘリコプター）により減少</p>
<p>売上収益 </p> <p>+722 億円</p>	<p>ボーイング向けや民間機向け航空エンジンの増加等により増加</p>
<p>事業利益 </p> <p>▲78 億円</p>	<p>増収はあるものの、為替レートを前期比で円高前提としていることなどにより減益</p>

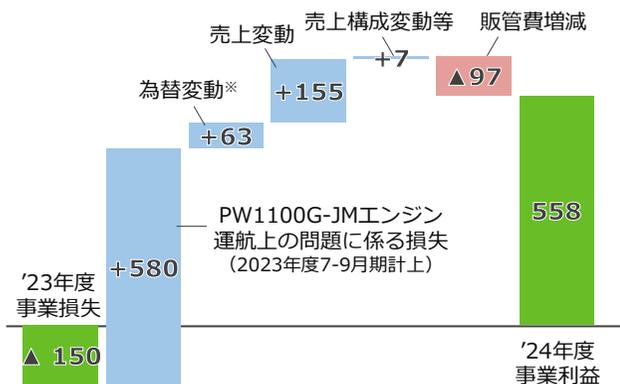


3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

(単位：億円)

	'23年度	'24年度				'25年度	
	実績	2月予想	実績	前期比	2月予想比	予想	前期比
受注高	6,926	8,100	8,828	+ 1,902	+ 728	6,400	▲ 2,428
うち 航空宇宙	5,569	6,400	6,995	+ 1,425	+ 595	4,550	▲ 2,445
航空エンジン	1,356	1,700	1,833	+ 477	+ 133	1,850	+ 17
売上収益	3,961	5,700	5,678	+ 1,716	▲ 22	6,400	+ 722
うち 航空宇宙	3,074	4,000	3,999	+ 925	▲ 1	4,650	+ 651
航空エンジン	887	1,700	1,678	+ 791	▲ 22	1,750	+ 72
事業損益	▲ 150	460	558	+ 708	+ 98	480	▲ 78
	[利益率] [▲ 3.8%]	[8.1%]	[9.8%]	[+ 13.6pt]	[+ 1.7pt]	[7.5%]	[▲ 2.3pt]

事業損益増減要因 (億円)



※ PW1100G-JMエンジンの運航上の重要な問題に係る外貨建返金負債残高の為替変動に伴う評価替え影響 (+24億円) を含む

補足情報

ボーイング向け航空機分担製造品の売上機数 (単位：機)

	'23年度	'24年度	増減
767	33	19	▲ 14
777	32	19	▲ 13
777X	6	5	▲ 1
787	41	58	+ 17

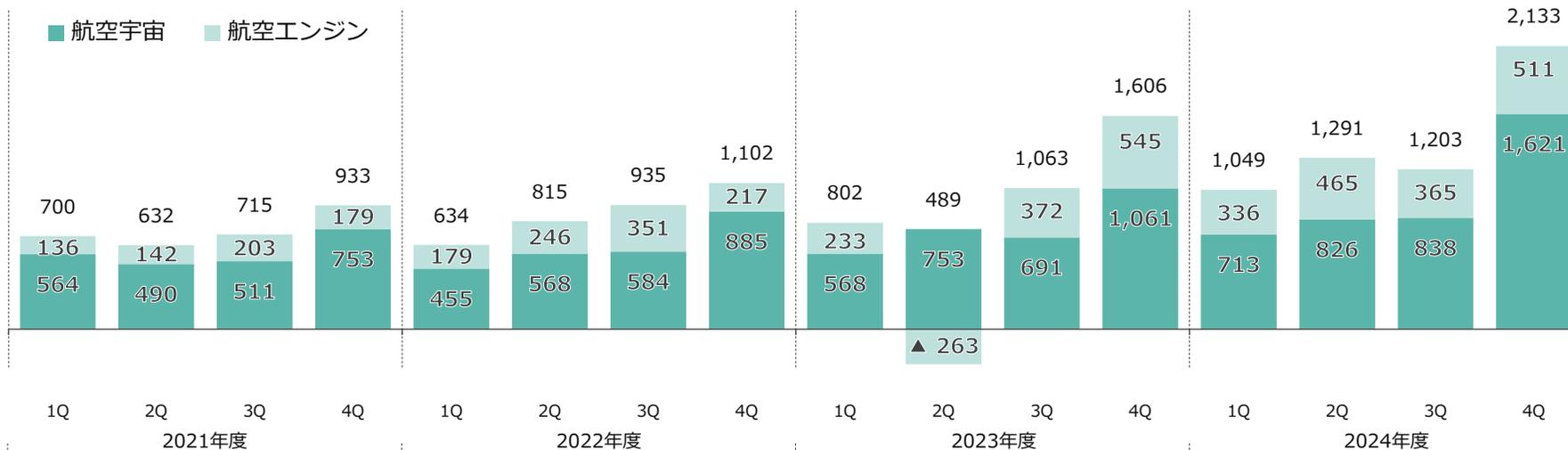
主要航空エンジン分担製造品の売上台数 (単位：台)

	'23年度	'24年度	増減
V2500	6	20	+ 14
PW1100G	675	681	+ 6

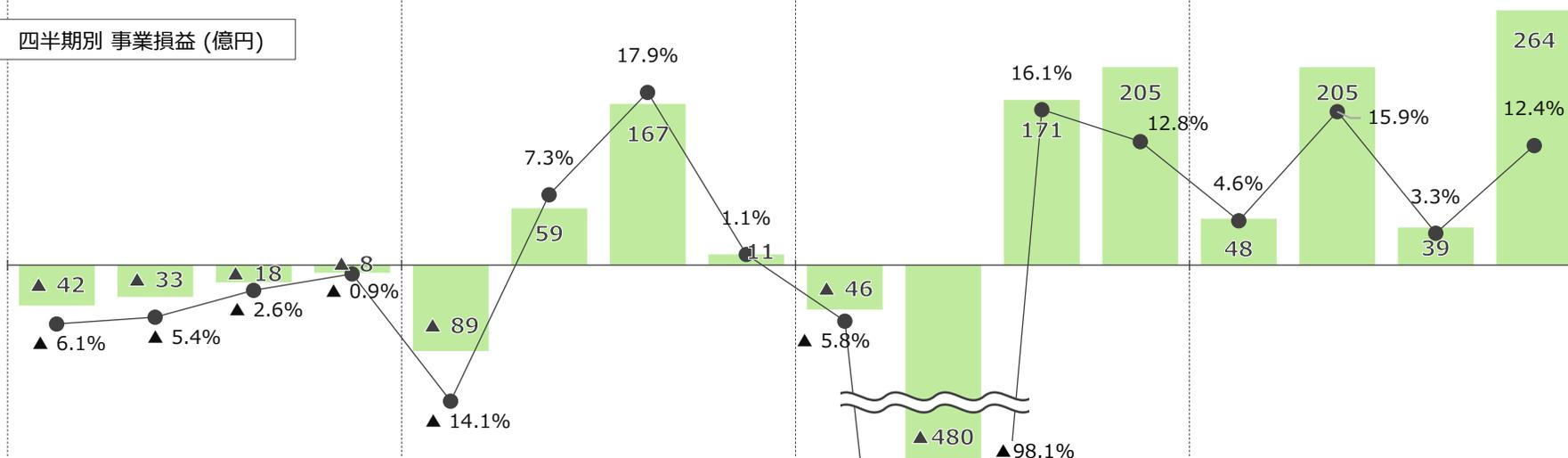
(注) Rolls-Royce向けエンジンは非公表

3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



事業環境・受注動向

- 民間機向け
 - 米国ボーイング社におけるストライキの影響はあったものの、航空旅客需要は回復から成長のフェーズに移行しており、機体・エンジンともに需要が増加
- 防衛省向け
 - 抜本的な防衛力強化という防衛省の方針のもと、需要増や採算性の改善が期待できる

(補足)

当社がIAE社※1を通じて参画している
PW1100G-JMエンジンプログラムについて

- ✦ 同エンジンには運航上の重要な問題が発生しており、本問題を解消するため、2024年から数年間にわたって多数の同エンジンが検査・整備のため機体 (A320neo) から取り下ろされる
- ✦ エンジンの取り下ろしから取り付けには250~300日を必要とするため、多くの機体が地上駐機状態となる
- ✦ '23年度に本件に係る将来にわたる損失見込み額を一括計上※2しており、現時点で損失見込み額に変更なし※3
- ✦ 本件に関する当社のプレスリリース
https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_230912-2.pdf
https://www.khi.co.jp/ir/pdf/etc_231026-1j.pdf

※1 International Aero Engines, LLC

※2 2023年度7-9月期に事業損益段階で▲580億円の損失を計上

※3 為替変動に伴う評価替の影響を除く

重点施策と具体的な取り組み

 事業の拡大に向けた体制整備

- 旺盛な需要に対応するサプライチェーン及び増産体制の再整備
- 新たな事業機会獲得に向けた業務効率化と生産性の向上
- 防衛航空機・ヘリコプタの開発推進ならびに量産契約の着実な履行



H145//BK117 D-3型
警察庁に2機納入

 防衛事業にかかる活動強化

- 防衛力強化に向けた7つの重視分野への取り組み推進

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 統合防空ミサイル防衛能力 | 5 機動展開能力 |
| 2 スタンド・オフ防衛能力 | 6 持続性・強靱性 |
| 3 領域横断作戦能力 | 7 無人アセット防衛能力 |
| 4 指揮統制・情報関連機能 | |



スタンド・オフ電子戦機
(出典:防衛省ウェブサイト)

完了 試作その1契約
24年度履行完了



P-1固定翼哨戒機
(出典:海自ウェブサイト)

 市場動向を踏まえた技術戦略の推進

- 防衛力強化の実現に向けた民生技術の活用を含む技術開発の促進
- NEDOグリーンイノベーション基金活用による脱炭素社会に向けた環境技術開発の推進